

平成28年度 全国学力・学習状況調査

調査結果のポイントについて

～北海道（公立）における調査結果～

本資料は、国が公表した「平成28年度 全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」に基づき、全国と北海道の公立学校の調査結果の比較ができるようにまとめたものです。

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 調査の概要 | 1 |
| 2. 結果の概要 | 2 |
| ■ 教科に関する調査 | |
| ■ 児童生徒質問紙調査 | |
| ■ 学校質問紙調査 | |
| 3. 教科に関する調査 | |
| ■ 小学校〈国語・算数〉 | 4 |
| ■ 中学校〈国語・数学〉 | 12 |
| ■ 過去の同一問題との比較 | 22 |
| 4. 質問紙調査 | |
| ■ 「2. 結果の概要」で示した項目 | 23 |
| ■ その他 | |
| ・主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況 | 27 |
| ・学習評価の在り方 | 36 |
| ・カリキュラム・マネジメント | 37 |
| ・教職員の資質能力の向上 | 39 |
| ・ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間 | 40 |
| ・小学校教育と中学校教育の連携 | 43 |
| 5. 質問紙と学力のクロス分析 | 44 |

1. 調査の概要

| | | | | | | | |
|---|----------|---------------|------------|-----|----------|---------------|-----------|
| 1 調査の目的 | | | | | | | |
| ○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。 | | | | | | | |
| ○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。 | | | | | | | |
| ○以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。 | | | | | | | |
| 2 調査の対象 | | | | | | | |
| ○小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部の第6学年の児童 | | | | | | | |
| ○中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校、特別支援学校中学部の第3学年の生徒 | | | | | | | |
| 3 調査の内容 | | | | | | | |
| ①教科に関する調査（国語、算数・数学） | | | | | | | |
| ・主として「知識」に関する問題（A） | | | | | | | |
| ・主として「活用」に関する問題（B） | | | | | | | |
| ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査 | | | | | | | |
| ・児童生徒に対する調査 | | | | | | | |
| ・学校に対する調査 | | | | | | | |
| 4 調査の方式 | | | | | | | |
| 悉皆調査 | | | | | | | |
| 5 調査の実施日 | | | | | | | |
| 平成28年4月19日（火） | | | | | | | |
| 6 平成28年4月19日（火）に調査を実施した学校・児童生徒数 | | | | | | | |
| 北海道（公立） | | | 〔参考〕全国（公立） | | | | |
| | 対象学校数(校) | 実施学校数(校)(実施率) | 児童生徒数(人) | | 対象学校数(校) | 実施学校数(校)(実施率) | 児童生徒数(人) |
| 小学校 | 1,048 | 1,046(99.8%) | 40,277 | 小学校 | 19,752 | 19,335(97.9%) | 1,021,910 |
| 中学校 | 608 | 607(99.8%) | 41,236 | 中学校 | 9,685 | 9,464(97.7%) | 996,578 |
| 合計 | 1,656 | 1,653(99.8%) | 81,513 | 合計 | 29,437 | 28,799(97.8%) | 2,018,488 |
| ※ 小学校には義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部を、中学校には義務教育学校後期課程、中等教育学校及び特別支援学校中学部を含む | | | | | | | |
| ※ 対象児童生徒の欠席により調査期日に実施できなかった学校は、実施学校数(校)に含まれていない ※ 札幌市を含む | | | | | | | |

【調査結果の解釈等に関する留意事項】

| |
|---|
| ○ 本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。 |
| ○ 本調査の結果においては、平均正答数、平均正答率等の数値を示しているが、これらの数値のみで必ずしも調査結果のすべてを表すものではなく、中央値、標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析・評価する必要がある。また、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。 |

【用語説明】

| 語句 | 説明 |
|-------|--|
| 平均正答率 | 平均正答数を百分率で表示。 ○国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学Bごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）。 ○学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率。 |
| 中央値 | 集団のデータを大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。 平均値とともに集団における代表値として捉えられる。 |
| 標準偏差 | 集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。 標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値がすべて同じ）ことを意味する。 |

2. 結果の概要

■ 教科に関する調査

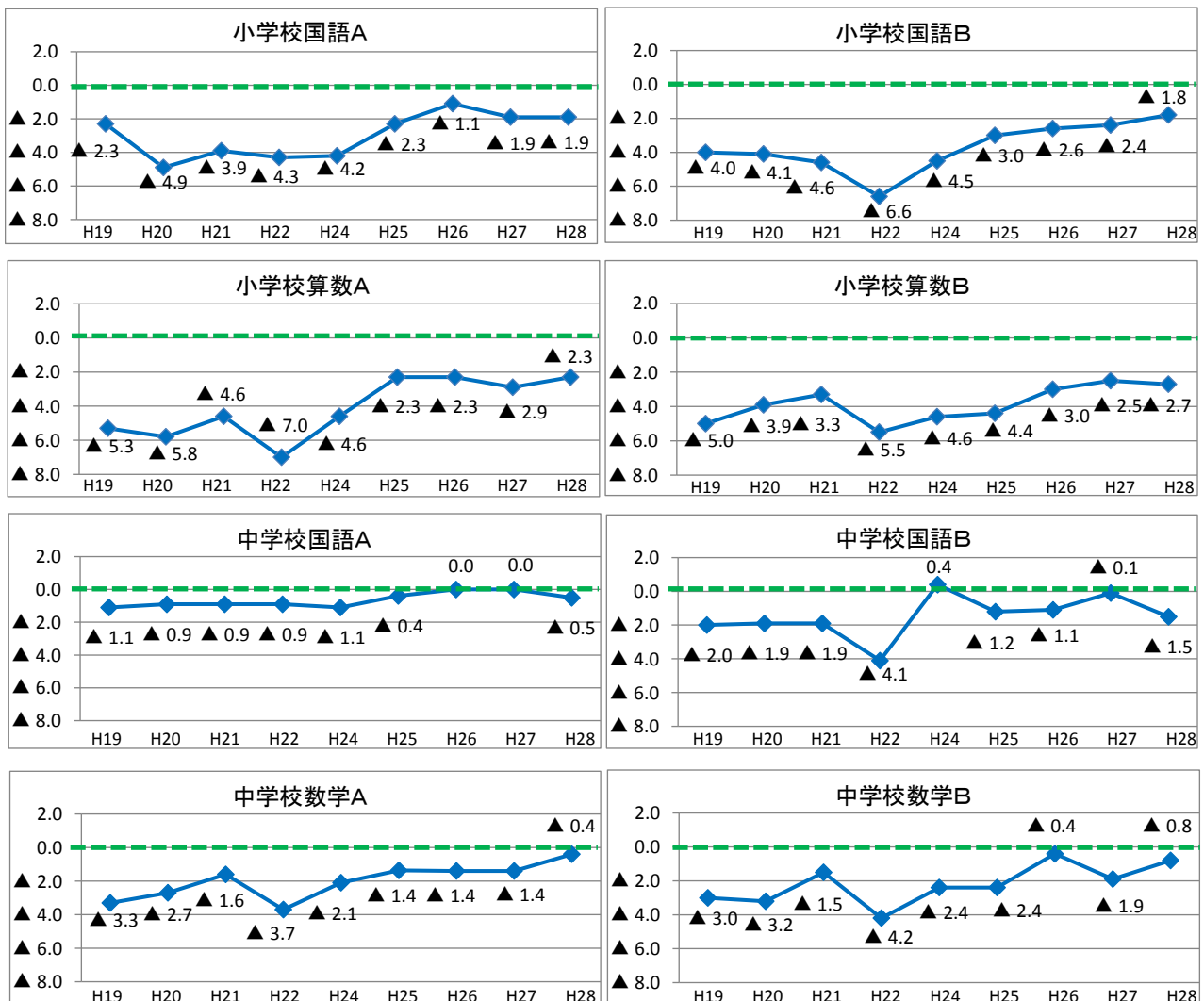
- 小・中学校すべての教科において、全国の平均正答率を下回っており、昨年度と比べて、全国の平均正答率との差が、小学校国語Aで同じ、小学校国語B、算数A、中学校数学A、数学Bの4教科で縮まり、小学校算数B、中学校国語A、国語Bの3教科で広がった。
- 小学校は、すべての教科で全国との差が2.7ポイント（昨年度2.9ポイント）以内。
- 中学校は、すべての教科で全国との差が1.5ポイント（昨年度1.9ポイント）以内。

各教科の平均正答率

()は平成27年度

| | | 小学校 | | | | 中学校 | | | |
|-----------|---|---------------------|-------------------|----------------------|--------------------|----------------------|------------------|----------------------|--------------------|
| | | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B |
| 平均正答率 (%) | 道 | 71.0 (68.1) | 56.0 (63.0) | 75.3 (72.3) | 44.5 (42.5) | 75.1 (75.8) | 65.0 (65.7) | 61.8 (63.0) | 43.3 (39.7) |
| | 国 | 72.9 (70.0) | 57.8 (65.4) | 77.6 (75.2) | 47.2 (45.0) | 75.6 (75.8) | 66.5 (65.8) | 62.2 (64.4) | 44.1 (41.6) |
| 平均正答数 (問) | 道 | 10.7/15 (9.5/14) | 5.6/10 (5.7/9) | 12.0/16 (11.6/16) | 5.8/13 (5.5/13) | 24.8/33 (25.0/33) | 5.8/9 (5.9/9) | 22.2/36 (22.7/36) | 6.5/15 (6.0/15) |
| | 国 | 10.9/15 (9.8/14) | 5.8/10 (5.9/9) | 12.4/16 (12.0/16) | 6.1/13 (5.9/13) | 25.0/33 (25.0/33) | 6.0/9 (5.9/9) | 22.4/36 (23.2/36) | 6.6/15 (6.2/15) |

全国と北海道の平均正答率の差



※ H19～H21、H25～H28は悉皆調査で実施

※ H23は、震災の影響で国は従来の調査としての実施を見送り、道独自で調査を行ったことから、国との比較ができないため非掲載

※ 数値は、「北海道(公立)の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差で算出

■ 児童生徒質問紙調査（グラフはP23～P25に掲載）

（ ）内は質問番号

- 国語の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校で58.5%、中学校で62.4%であり、昨年度と比べて、小学校で3.3ポイント、中学校で1.8ポイント低い。全国と比べて、小学校で0.2ポイント、中学校で2.6ポイント高い。（小61、中61）
- 算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合は、小学校で64.1%、中学校で52.9%であり、昨年度と比べて、小学校で0.4ポイント、中学校で0.9ポイント低い。全国と比べて、小学校で1.9ポイント、中学校で3.1ポイント低い。（小71、中71）
- 家で、自分で計画を立てて勉強する児童生徒の割合は、小学校で63.3%、中学校で48.2%であり、昨年度と比べて、小学校で0.9ポイント、中学校で0.8ポイント低い。全国と比べて、小学校で1.1ポイント高く、中学校で0.2ポイント低い。（小21、中21）
- 普段、1日当たり1時間以上勉強する児童生徒の割合は、小学校で54.7%、中学校で61.8%であり、昨年度と比べて、小学校で0.1ポイント高く、中学校で1.2ポイント低い。全国と比べて、小学校で7.8ポイント、中学校で6.1ポイント低い。（小14、中14）
- 普段、1日当たり3時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり（勉強のためのテレビやビデオ・DVD、テレビゲーム除く）する児童生徒の割合は、小学校で36.5%、中学校で25.8%であり、昨年度と比べて、小学校で3.1ポイント、中学校で6.5ポイント低い。全国と比べて、小学校で3.7ポイント、中学校で1.7ポイント高い。（小11、中11）
- 普段、1日当たり3時間以上、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む）をする児童生徒の割合は、小学校で21.2%、中学校で23.1%であり、昨年度と比べて、小学校、中学校とも1.4ポイント低い。全国と比べて、小学校で5.2ポイント、中学校で4.2ポイント高い。（小12、中12）
- 普段、1日当たり3時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネット（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム除く）をする児童生徒の割合は、小学校で8.1%、中学校で20.6%であり、昨年度と比べて、小学校で0.4ポイント高く、中学校で1.1ポイント低い。全国と比べて、小学校で2.3ポイント、中学校で4.0ポイント高い。（小13、中13）

■ 学校質問紙調査（グラフはP25～P27に掲載）

（ ）内は質問番号

- 国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を「よく与えた」学校の割合は、小学校で81.5%、中学校で45.3%であり、昨年度と比べて、小学校で2.7ポイント高く、中学校で3.2ポイント低い。全国と比べて、小学校で5.0ポイント、中学校で8.1ポイント低い。（小92、中90）
- 算数・数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を「よく与えた」学校の割合は、小学校で84.2%、中学校で53.7%であり、昨年度と比べて、小学校で1.8ポイント高く、中学校で1.9ポイント低い。全国と比べて、小学校で3.5ポイント、中学校で2.7ポイント低い。（小94、中92）
- 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持の徹底を「よく行った」学校の割合は、小学校で65.5%、中学校で71.8%であり、昨年度と比べて、小学校で4.4ポイント、中学校で0.7ポイント高い。全国と比べて、小学校で4.8ポイント、中学校で3.9ポイント高い。（小51、中51）
- 授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書く指導を「よく行った」学校の割合は、小学校で66.4%、中学校で38.4%であり、昨年度と比べて、小学校で8.0ポイント、中学校で6.1ポイント高い。全国と比べて、小学校で1.2ポイント高く、中学校で0.9ポイント低い。（小41、中41）
- 授業の中で目標を児童生徒に示す活動（※）を計画的に「よく行った」学校の割合は、小学校で68.7%、中学校で56.5%であり、昨年度と比べて、小学校で1.4ポイント、中学校で6.5ポイント高い。全国と比べて、小学校で2.2ポイント、中学校で4.4ポイント低い。（小36、中36）（※H28一部変更あり（H27…授業の冒頭で目標を児童生徒に示す活動））
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に「よく行った」学校の割合は、小学校で54.8%、中学校で43.5%であり、昨年度と比べて、小学校で0.5ポイント、中学校で4.4ポイント高い。全国と比べて、小学校で4.7ポイント、中学校で3.5ポイント高い。（小37、中37）

3. 教科に関する調査

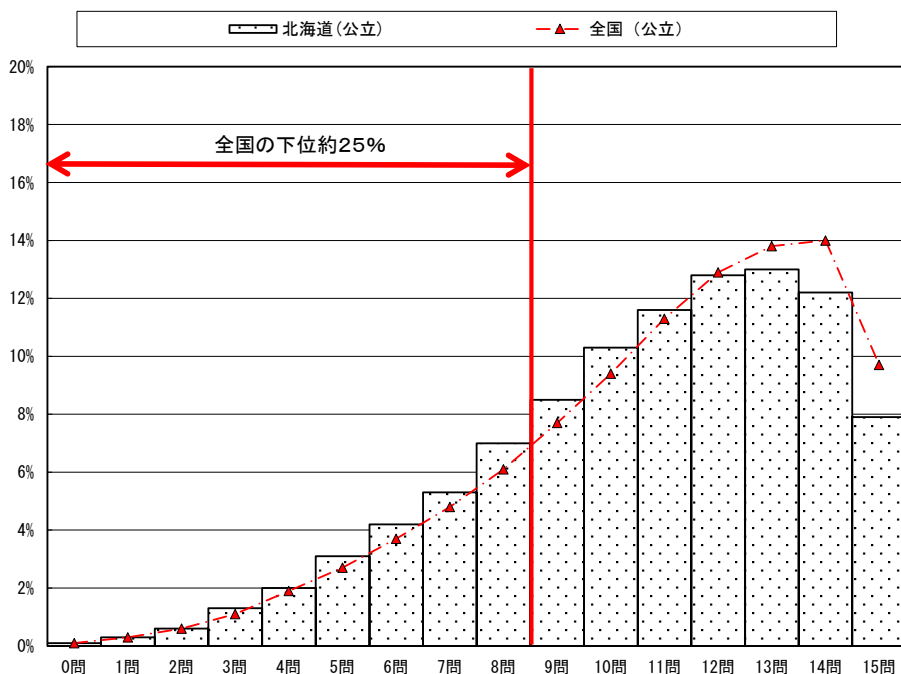
■ 小学校国語A

【概要】

- 平均正答率は、71.0%
- 全国の平均正答率との差は、-1.9ポイントで、平成27年度と同じ

| | 児童数(人) | 平均正答数(問) | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|---------|-----------|-----------|----------|------|------|
| 北海道(公立) | 40,277 | 10.7 / 15 | 71.0 | 11.0 | 3.1 |
| 全国(公立) | 1,021,905 | 10.9 / 15 | 72.9 | 12.0 | 3.1 |

| 正答数 (児童の割合(%)) | | |
|----------------|------|------|
| 正答数(正答率) | 北海道 | 全国 |
| 0問(0.0%) | 0.1 | 0.1 |
| 1問(6.7%) | 0.3 | 0.3 |
| 2問(13.3%) | 0.6 | 0.6 |
| 3問(20.0%) | 1.3 | 1.1 |
| 4問(26.7%) | 2.0 | 1.9 |
| 5問(33.3%) | 3.1 | 2.7 |
| 6問(40.0%) | 4.2 | 3.7 |
| 7問(46.7%) | 5.3 | 4.8 |
| 8問(53.3%) | 7.0 | 6.1 |
| 9問(60.0%) | 8.5 | 7.7 |
| 10問(66.7%) | 10.3 | 9.4 |
| 11問(73.3%) | 11.6 | 11.3 |
| 12問(80.0%) | 12.8 | 12.9 |
| 13問(86.7%) | 13.0 | 13.8 |
| 14問(93.3%) | 12.2 | 14.0 |
| 15問(100.0%) | 7.9 | 9.7 |



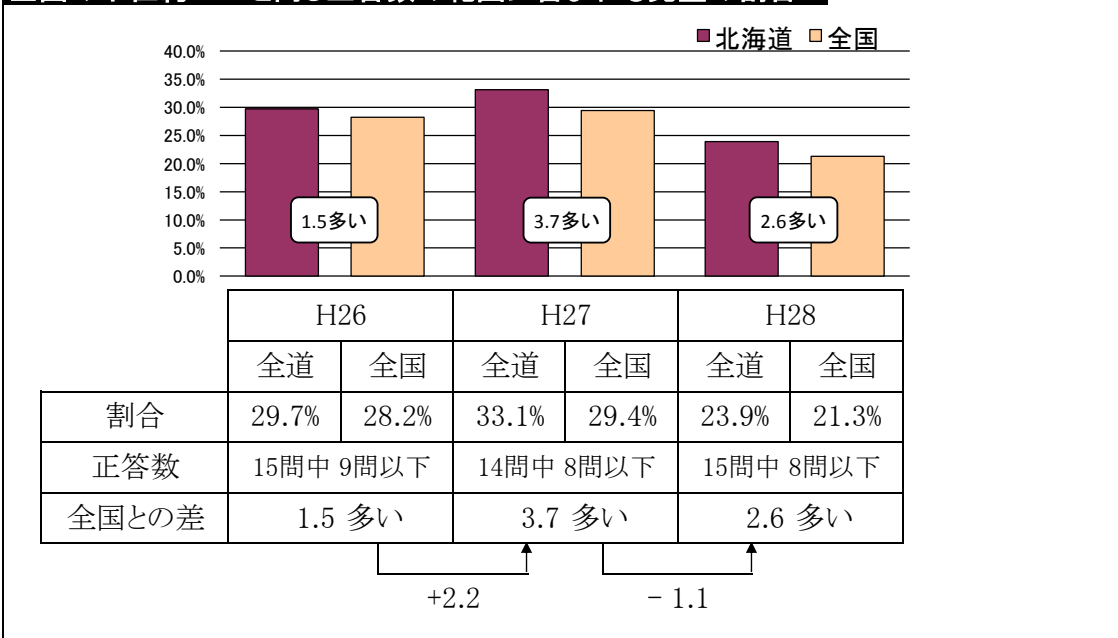
| | | |
|---------|------|------|
| 8問以下の割合 | 23.9 | 21.3 |
|---------|------|------|

※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる全道の児童生徒の割合を比較した。

● 全国の下位約25%は、8問以下の正答数（正答率は53.3%以下）。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

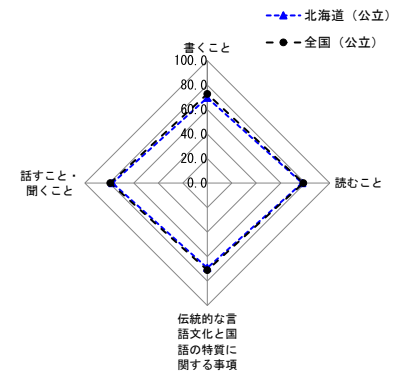


設問別調査結果 [小学校・国語A：主として知識]

集計結果

| 対象学校数 | 北海道（公立） 1,046 | 全国（公立） 19,335 | 対象児童数 | 北海道（公立） 40,277 | 全国（公立） 1,021,905 | | |
|------------|----------------------|------------------|----------|-------------------|---------------------|------|------|
| 分類 | 区分 | 対象設問数 (問) | 平均正答率(%) | | | | |
| | | | 北海道（公立） | 全国（公立） | | | |
| 全体 | | | | | 15 | 71.0 | 72.9 |
| 学習指導要領の領域等 | 話すこと・聞くこと | 1 | 77.5 | 79.2 | | | |
| | 書くこと | 2 | 69.7 | 72.8 | | | |
| | 読むこと | 2 | 77.5 | 78.5 | | | |
| | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 10 | 69.3 | 71.1 | | | |
| 評価の観点 | 国語への関心・意欲・態度 | 0 | | | | | |
| | 話す・聞く能力 | 1 | 77.5 | 79.2 | | | |
| | 書く能力 | 2 | 69.7 | 72.8 | | | |
| | 読む能力 | 2 | 77.5 | 78.5 | | | |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 10 | 69.3 | 71.1 | | | |
| 問題形式 | 選択式 | 6 | 75.3 | 77.2 | | | |
| | 短答式 | 9 | 68.2 | 70.0 | | | |
| | 記述式 | 0 | | | | | |

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | 無解答率(%) | |
|------|---|------------------------------|--------------------|------|--------------------|----------------------|--------------|---------|------|------|-----------------|------|--------|------|---------|--------|
| | | | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 北海道（公立） | 全国（公立） |
| 1-1 | 漢字を読む (今日は全国的に快晴だ) | 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む | | | 5-6 (1)ウ (ア) | | | | | ○ | | ○ | 82.8 | 79.3 | 4.2 | 5.2 |
| 1-2 | 漢字を読む (お年玉を貯金する) | | 5-6 (1)ウ (ア) | | | | | | ○ | | ○ | 98.9 | 98.5 | 0.1 | 0.3 | |
| 1-3 | 漢字を読む (むだを省くようにする) | | 5-6 (1)ウ (ア) | | | | | | ○ | | ○ | 78.3 | 81.0 | 5.4 | 5.0 | |
| 1-1 | 漢字を書く (アサガオのたねをまく) | 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く | | | 5-6 (1)ウ (ア) | | | | | ○ | | ○ | 85.7 | 87.5 | 5.4 | 4.5 |
| 1-2 | 漢字を書く (したい友人と出かける) | | 5-6 (1)ウ (ア) | | | | | | ○ | | ○ | 71.1 | 73.8 | 11.7 | 10.4 | |
| 1-3 | 漢字を書く (先生にそうだんする) | | 5-6 (1)ウ (ア) | | | | | | ○ | | ○ | 60.2 | 64.2 | 6.4 | 5.0 | |
| 2 | 全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話合っているのか、話合いの説明として適切なものを選択する | 目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う | 5-6 ア | | | | | | ○ | | | ○ | 77.5 | 79.2 | 0.1 | 0.2 |
| 3 | ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する | 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する | 5-6 カ | | | | | | ○ | | | ○ | 62.7 | 67.4 | 0.2 | 0.2 |
| 4 | 委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する | 目的や意図に応じて、書く事柄を整理する | 5-6 ア | | | | | | ○ | | | ○ | 76.6 | 78.2 | 0.3 | 0.3 |
| 5 | 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する | 目的に応じて、図と表とを関係付けて読む | | | 5-6 ウ | | | | ○ | | | ○ | 93.2 | 93.1 | 0.2 | 0.3 |
| 6 | 『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する | 登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える | | | 3-4 ウ | | | | ○ | | | ○ | 61.9 | 63.9 | 1.5 | 1.4 |
| 7アイ | 毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する(永久) | 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める | | | 5-6 (2)ア | | | | | ○ | ○ | | 79.7 | 81.2 | 0.9 | 0.9 |
| 8_1 | ローマ字を書く (りんご) | 平仮名で表記されたものをローマ字で書く | | | 3-4 (1)ウ (ア) | | | | | ○ | | ○ | 50.9 | 53.2 | 12.9 | 11.9 |
| 8_2 | ローマ字を書く (あさって) | | 3-4 (1)ウ (ア) | | | | | | ○ | | ○ | 39.0 | 41.8 | 14.5 | 13.7 | |
| 8_3 | ローマ字を読む (hyaku) | | 3-4 (1)ウ (ア) | | | | | | ○ | | ○ | 46.7 | 50.7 | 22.6 | 20.0 | |

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

| | H26 | H27 | H28 |
|----------------|-------|-------|-------|
| 平均正答率が全国以上の設問数 | 3/15問 | 3/14問 | 3/15問 |
| 無解答率が全国以下の設問数 | 8/15問 | 9/14問 | 7/15問 |
| 無解答率が5%以上の設問数 | 3/15問 | 4/14問 | 7/15問 |

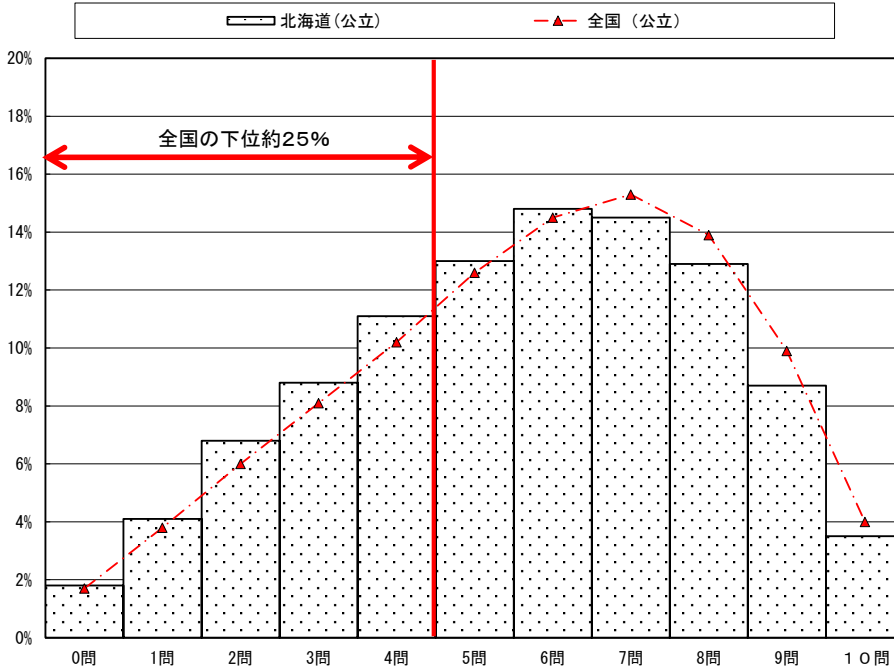
■ 小学校国語B

【概要】

- 平均正答率は、56.0%
- 全国の平均正答率との差は、-2.4ポイント（平成27年度）から-1.8ポイントに縮まった

| | 児童数(人) | 平均正答数(問) | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|---------|-----------|----------|----------|-----|------|
| 北海道(公立) | 40,264 | 5.6 / 10 | 56.0 | 6.0 | 2.4 |
| 全国(公立) | 1,021,635 | 5.8 / 10 | 57.8 | 6.0 | 2.4 |

| 正答数 (児童の割合(%)) | | |
|----------------|------|------|
| 正答数(正答率) | 北海道 | 全国 |
| 0問(0.0%) | 1.8 | 1.7 |
| 1問(10.0%) | 4.1 | 3.8 |
| 2問(20.0%) | 6.8 | 6.0 |
| 3問(30.0%) | 8.8 | 8.1 |
| 4問(40.0%) | 11.1 | 10.2 |
| 5問(50.0%) | 13.0 | 12.6 |
| 6問(60.0%) | 14.8 | 14.5 |
| 7問(70.0%) | 14.5 | 15.3 |
| 8問(80.0%) | 12.9 | 13.9 |
| 9問(90.0%) | 8.7 | 9.9 |
| 10問(100.0%) | 3.5 | 4.0 |



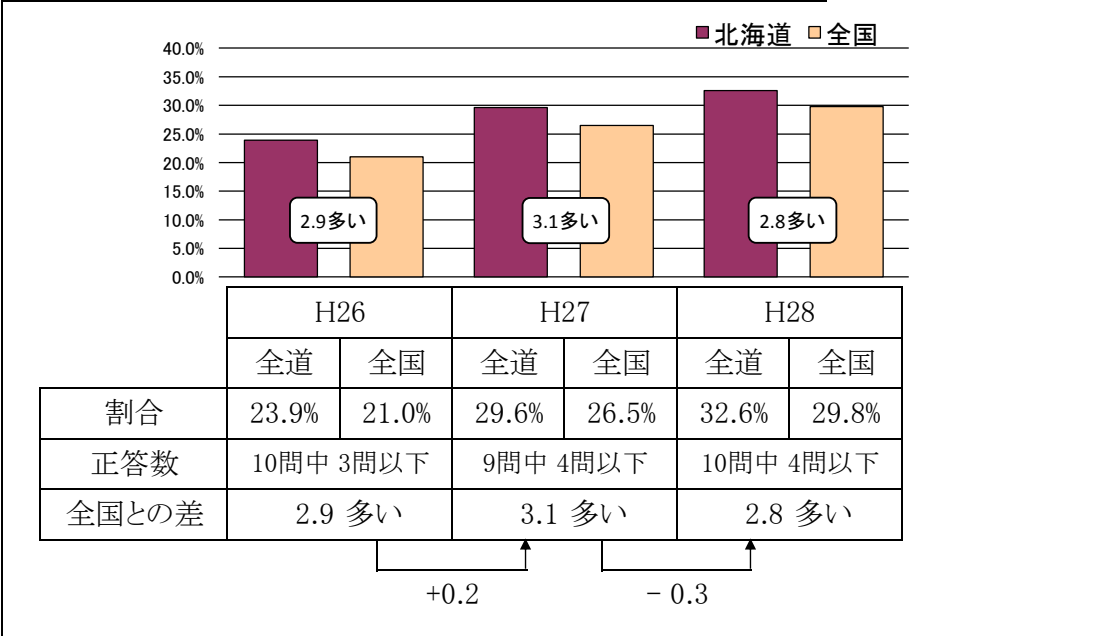
| | | |
|---------|------|------|
| 4問以下の割合 | 32.6 | 29.8 |
|---------|------|------|

※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる全道の児童生徒の割合を比較した。

● 全国の下位約25%は、4問以下の正答数（正答率は40%以下）。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

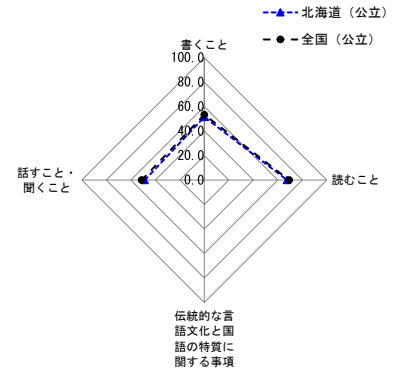


設問別調査結果 [小学校・国語B：主として活用]

集計結果

| 対象学校数 | 北海道（公立） 1,046 | 全国（公立） 19,333 | 対象児童数 | 北海道（公立） 40,264 | 全国（公立） 1,021,635 | | |
|------------|----------------------|------------------|----------|-------------------|---------------------|------|------|
| 分類 | 区分 | 対象設問数 (問) | 平均正答率(%) | | | | |
| | | | 北海道（公立） | 全国（公立） | | | |
| 全体 | | | | | 10 | 56.0 | 57.8 |
| 学習指導要領の領域等 | 話すこと・聞くこと | 3 | 48.6 | 51.1 | | | |
| | 書くこと | 6 | 51.5 | 53.4 | | | |
| | 読むこと | 3 | 67.6 | 69.3 | | | |
| | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 0 | | | | | |
| 評価の観点 | 国語への関心・意欲・態度 | 4 | 52.9 | 54.7 | | | |
| | 話す・聞く能力 | 3 | 48.6 | 51.1 | | | |
| | 書く能力 | 6 | 51.5 | 53.4 | | | |
| | 読む能力 | 3 | 67.6 | 69.3 | | | |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 0 | | | | | |
| 問題形式 | 選択式 | 6 | 58.0 | 59.9 | | | |
| | 短答式 | 0 | | | | | |
| | 記述式 | 4 | 52.9 | 54.7 | | | |

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



※一つの設問が複数の区分に該当する場合は、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | 無解答率(%) | | |
|-------|---|-------------------------------------|------------|----------|----------|----------------------|--------------|---------|------|------|-----------------|-----|--------|------|---------|--------|---------|
| | | | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 北海道（公立） | 全国（公立） | 北海道（公立） |
| 1一 | スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する | 目的に応じて、質問したいことを整理する | 5-6 エ | | | | | ○ | | | ○ | | | 50.8 | 51.8 | 0.3 | 0.3 |
| 1二 | スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する | 質問の意図を捉える | 5-6 エ | | | | | ○ | | | ○ | | | 48.1 | 51.1 | 0.5 | 0.5 |
| 1三 | スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く | 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する | 5-6 エ | 5-6 ウ | | | ○ | ○ | ○ | | | ○ | 47.0 | 50.4 | 9.6 | 7.8 | |
| 2一 | 「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する | グラフを基に、分かったことを的確に書く | | 5-6 エ | | | | ○ | | | ○ | | 41.2 | 43.4 | 1.3 | 1.2 | |
| 2二（1） | 「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く | 目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く | | 5-6 エ | | | ○ | ○ | | | ○ | | 51.3 | 51.4 | 7.6 | 6.7 | |
| 2二（2） | 「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く | 目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く | | 5-6 エ | | | ○ | ○ | | | ○ | | 62.3 | 64.2 | 8.9 | 7.7 | |
| 2三 | 「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する | 活動報告文において、課題を取り上げた効果捉える | | 5-6 イ | | | | ○ | | | ○ | | 56.5 | 58.3 | 4.7 | 4.2 | |
| 3一 | 「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する | 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む | | | 5-6 カ | | | | ○ | | ○ | | 75.1 | 77.2 | 3.0 | 2.9 | |
| 3二 | 「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する | 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する | | | 5-6 イ | | | | ○ | | ○ | | 76.6 | 77.9 | 3.6 | 3.4 | |
| 3三 | 「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く | 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む | | 5-6 ウ | 5-6 ウ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | 50.9 | 52.9 | 12.8 | 11.5 | |

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

| | H26 | H27 | H28 |
|----------------|-------|------|-------|
| 平均正答率が全国以上の設問数 | 0/10問 | 0/9問 | 0/10問 |
| 無解答率が全国以下の設問数 | 0/10問 | 0/9問 | 2/10問 |
| 無解答率が5%以上の設問数 | 7/10問 | 6/9問 | 4/10問 |

■ 小学校算数A

【概要】

- 平均正答率は、75.3%
- 全国の平均正答率との差は、-2.9ポイント（平成27年度）から-2.3ポイントに縮まった

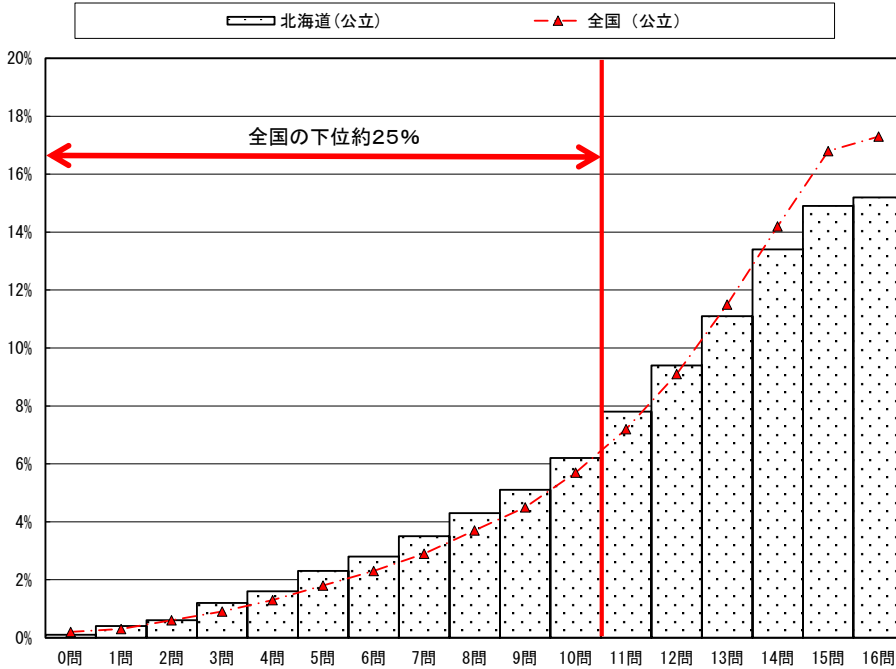
| | 児童数(人) | 平均正答数(問) | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|---------|-----------|-----------|----------|------|------|
| 北海道(公立) | 40,276 | 12.0 / 16 | 75.3 | 13.0 | 3.5 |
| 全国(公立) | 1,021,910 | 12.4 / 16 | 77.6 | 13.0 | 3.4 |

| 正答数 (児童の割合(%)) | | |
|----------------|------|------|
| 正答数(正答率) | 北海道 | 全国 |
| 0問(0.0%) | 0.1 | 0.2 |
| 1問(6.3%) | 0.4 | 0.3 |
| 2問(12.5%) | 0.6 | 0.6 |
| 3問(18.8%) | 1.2 | 0.9 |
| 4問(25.0%) | 1.6 | 1.3 |
| 5問(31.3%) | 2.3 | 1.8 |
| 6問(37.5%) | 2.8 | 2.3 |
| 7問(43.8%) | 3.5 | 2.9 |
| 8問(50.0%) | 4.3 | 3.7 |
| 9問(56.3%) | 5.1 | 4.5 |
| 10問(62.5%) | 6.2 | 5.7 |
| 11問(68.8%) | 7.8 | 7.2 |
| 12問(75.0%) | 9.4 | 9.1 |
| 13問(81.3%) | 11.1 | 11.5 |
| 14問(87.5%) | 13.4 | 14.2 |
| 15問(93.8%) | 14.9 | 16.8 |
| 16問(100.0%) | 15.2 | 17.3 |

| | | |
|----------|------|------|
| 10問以下の割合 | 28.1 | 24.2 |
|----------|------|------|

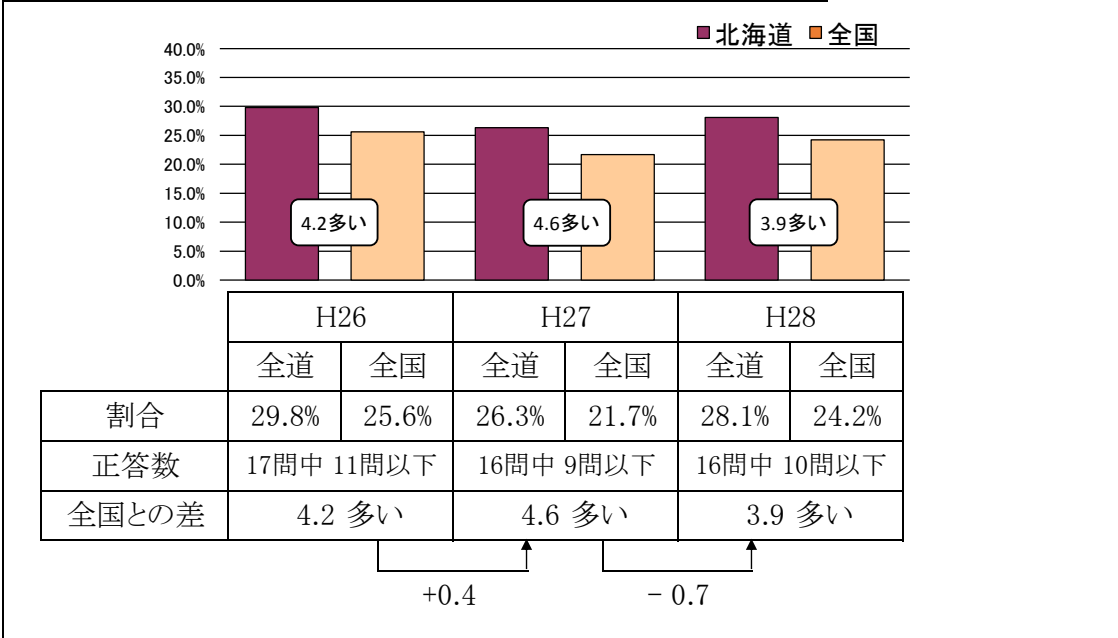
※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる全道の児童生徒の割合を比較した。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。



● 全国の下位約25%は、10問以下の正答数（正答率は62.5%以下）。

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



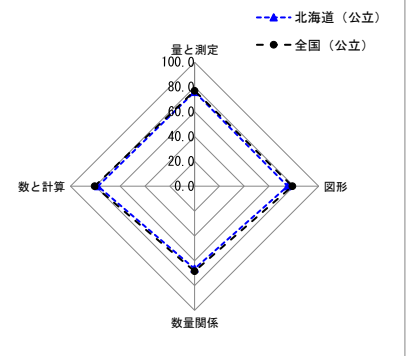
設問別調査結果 [小学校・算数A：主として知識]

集計結果

| 対象学校数 | 北海道(公立) | 全国(公立) | 対象児童数 | 北海道(公立) | 全国(公立) |
|-------|---------|--------|-------|---------|-----------|
| | 1,046 | 19,335 | | 40,276 | 1,021,910 |

| 分類 | 区分 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|-----------------|----------|----------|--------|------|
| | | | 北海道(公立) | 全国(公立) | |
| 全体 | | | 16 | 75.3 | 77.6 |
| 学習指導要領の領域 | 数と計算 | 10 | 77.9 | 80.5 | |
| | 量と測定 | 2 | 76.1 | 77.0 | |
| | 図形 | 2 | 75.0 | 78.8 | |
| | 数量関係 | 3 | 66.5 | 68.5 | |
| 評価の観点 | 算数への関心・意欲・態度 | 0 | | | |
| | 数学的な考え方 | 0 | | | |
| | 数量や図形についての技能 | 5 | 80.2 | 82.5 | |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 11 | 73.0 | 75.4 | |
| 問題形式 | 選択式 | 5 | 73.0 | 75.8 | |
| | 短答式 | 11 | 76.3 | 78.5 | |
| | 記述式 | 0 | | | |

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域 | | | | 評価の観点 | | | | 問題形式 | | | 正答率(%) | | 無解答率(%) | | |
|------|--|--|--------------------------|------|----|------|--------------|---------|--------------|-----------------|------|-----|-----|---------|--------|---------|--------|--|
| | | | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係 | 算数への関心・意欲・態度 | 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 北海道(公立) | 全国(公立) | 北海道(公立) | 全国(公立) | |
| 1(1) | $\square \div 0.8$ の商の大きさについて、正しいものを選ぶ | 除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している | 5A(3)アイ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1(2) | $2.1 \div 0.7$ を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く | 除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している | 4A(3)エ5A(3)イウ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1(3) | 小数の除法の結果を、乗法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く | 除法における計算の確かめの方法を理解している | 3A(4)イ4A(3)エ5A(3)イウ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2(1) | $905 - 8$ を計算する | 繰り下がりのある減法の計算をすることができる | 3A(2)ア | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2(2) | $4.65 + 0.3$ を計算する | 末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる | 4A(5)イ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2(3) | $18 \div 0.9$ を計算する | 小数の除法の計算をすることができる | 5A(3)イ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2(4) | $(2 \div 9) \times 3$ を計算する | 乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することができる | 5A(4)ウカ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3(1) | 二つの数の大小関係を表す不等号を書く | 不等号を理解している | 2A(1)イ3A(1)イ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3(2) | 7, 1, 7, 7, 01の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く | 数の大小関係を理解している | 4A(5)ア | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 8m^2 に14人座っているシートについて、 1m^2 当たりの人数を求める式を書く | 単位量当たりの大きさの求め方を理解している | 5B(4)ア | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ | 三角形の底辺と高さの関係について理解している | 5B(1)ア | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 4枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶ | 図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる | 1C(1)2C(1)イ3C(1)アイ4C(1)イ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ | 直方体における面と面の位置関係を理解している | 4C(2)アイ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ | 全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している | 5D(3) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9(1) | 前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く | 示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる | 1A(1)イ1A(2)ア | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9(2) | 定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く | 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している | 5D(3) | | | | | | | | | | | | | | | |

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

| | H26 | H27 | H28 |
|----------------|-------|-------|-------|
| 平均正答率が全国以上の設問数 | 1/17問 | 2/16問 | 2/16問 |
| 無解答率が全国以下の設問数 | 7/17問 | 2/16問 | 7/16問 |
| 無解答率が5%以上の設問数 | 0/17問 | 2/16問 | 1/16問 |

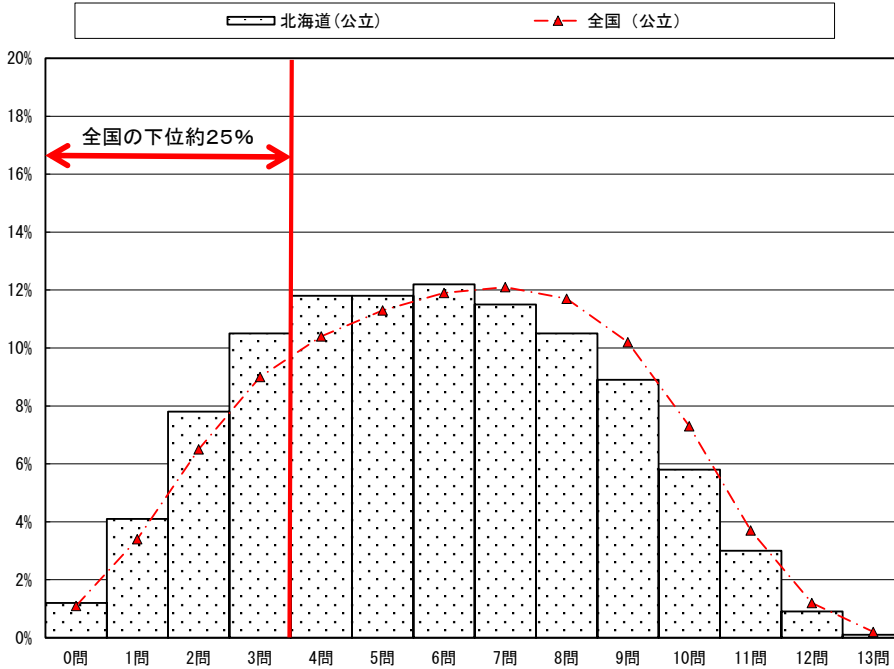
■ 小学校算数B

【概要】

- 平均正答率は、44.5%
- 全国の平均正答率との差は、-2.5ポイント（平成27年度）から-2.7ポイントに広がった

| | 児童数（人） | 平均正答数（問） | 平均正答率（%） | 中央値 | 標準偏差 |
|---------|-----------|----------|----------|-----|------|
| 北海道（公立） | 40,262 | 5.8 / 13 | 44.5 | 6.0 | 2.8 |
| 全国（公立） | 1,021,637 | 6.1 / 13 | 47.2 | 6.0 | 2.8 |

| 正答数 （児童の割合（%）） | | |
|----------------|------|------|
| 正答数（正答率） | 北海道 | 全国 |
| 0問（0.0%） | 1.2 | 1.1 |
| 1問（7.7%） | 4.1 | 3.4 |
| 2問（15.4%） | 7.8 | 6.5 |
| 3問（23.1%） | 10.5 | 9.0 |
| 4問（30.8%） | 11.8 | 10.4 |
| 5問（38.5%） | 11.8 | 11.3 |
| 6問（46.2%） | 12.2 | 11.9 |
| 7問（53.8%） | 11.5 | 12.1 |
| 8問（61.5%） | 10.5 | 11.7 |
| 9問（69.2%） | 8.9 | 10.2 |
| 10問（76.9%） | 5.8 | 7.3 |
| 11問（84.6%） | 3.0 | 3.7 |
| 12問（92.3%） | 0.9 | 1.2 |
| 13問（100.0%） | 0.1 | 0.2 |



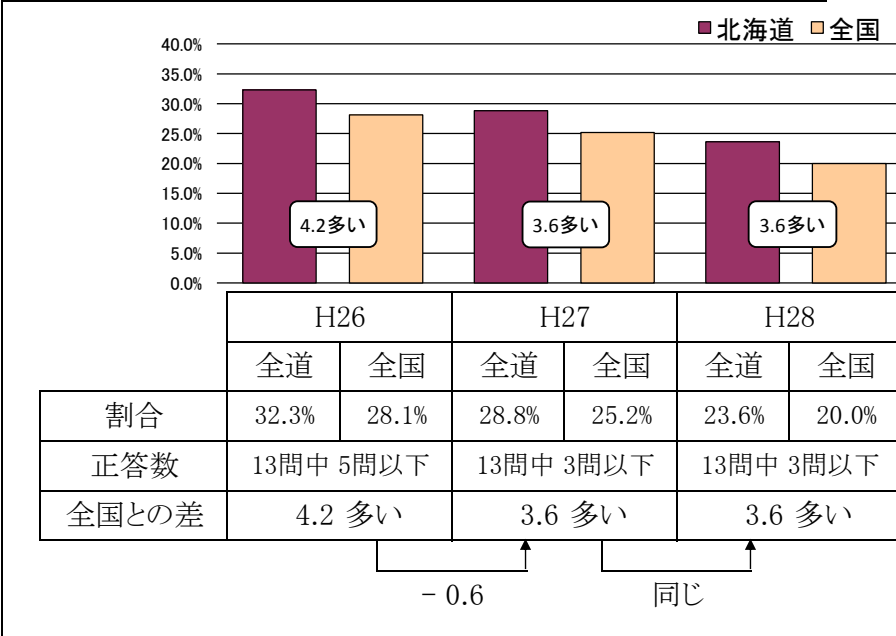
| | | |
|---------|------|------|
| 3問以下の割合 | 23.6 | 20.0 |
|---------|------|------|

※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる全道の児童生徒の割合を比較した。

● 全国の下位約25%は、3問以下の正答数（正答率は23.1%以下）。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



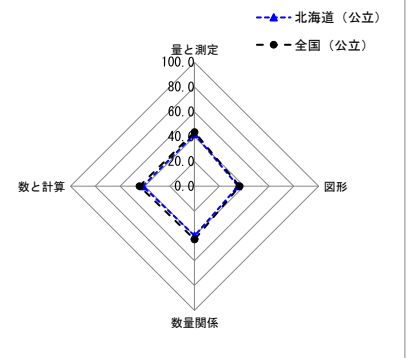
設問別調査結果 [小学校・算数B：主として活用]

集計結果

| 対象学校数 | 北海道（公立） | 全国（公立） | 対象児童数 | 北海道（公立） | 全国（公立） |
|-------|---------|--------|-------|---------|-----------|
| | 1,046 | 19,334 | | 40,262 | 1,021,637 |

| 分類 | 区分 | 対象設問数（問） | 平均正答率（%） | | |
|-----------|-----------------|----------|----------|--------|------|
| | | | 北海道（公立） | 全国（公立） | |
| 全体 | | | 13 | 44.5 | 47.2 |
| 学習指導要領の領域 | 数と計算 | 6 | 41.7 | 44.4 | |
| | 量と測定 | 5 | 42.0 | 43.7 | |
| | 図形 | 3 | 35.1 | 36.3 | |
| | 数量関係 | 6 | 39.9 | 42.9 | |
| 評価の観点 | 算数への関心・意欲・態度 | 0 | | | |
| | 数学的な考え方 | 9 | 38.7 | 40.9 | |
| | 数量や図形についての技能 | 2 | 48.5 | 53.3 | |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 2 | 66.7 | 69.5 | |
| 問題形式 | 選択式 | 5 | 54.7 | 56.7 | |
| | 短答式 | 3 | 62.9 | 66.4 | |
| | 記述式 | 5 | 23.2 | 26.2 | |

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域 | | | | 評価の観点 | | | | 問題形式 | | | 正答率（%） | | 無解答率（%） | | |
|-------|---|---|-----------|----------|---------|---------|--------------|---------|--------------|-----------------|------|-----|-----|---------|--------|---------|--------|------|
| | | | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 数量関係 | 算数への関心・意欲・態度 | 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 北海道（公立） | 全国（公立） | 北海道（公立） | 全国（公立） | |
| 1 (1) | 1辺が9 cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く | 示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じまわりが成り立つかを調べるができる | 3A (3)アイ | 4B (1)イ | | | | | | | | | | | 91.8 | 92.6 | 0.4 | 0.4 |
| 1 (2) | 正方形の縦の長さを2 cm短くし、横の長さを2 cm長くすると面積が4 cm ² 小さくなることの説明を書く | 示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる | | 4B (1)アイ | | | | | | | | | | | 40.2 | 45.2 | 4.6 | 4.0 |
| 2 (1) | ハードルとハードルの間が5 mのコースの、スタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところの位置に置けばよいか書く | ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めることができる | | | | 3D (2)ア | 2D (2)ア | | | | | | | | 50.9 | 56.2 | 3.6 | 3.1 |
| 2 (2) | 40 mハードル走の目標のタイムを求める式に8.1と4を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く | 示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる | 3A (5)イ | 5A (3)ア | | 4D (2)ア | | | | | | | | | 46.1 | 50.5 | 4.7 | 4.2 |
| 2 (3) | 目標のタイムを求める式の中の0.4や0.3が表す意味を書く | 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる | 3A (3)イ | 5A (3)ア | | | | | | | | | | | 13.6 | 15.6 | 21.4 | 18.6 |
| 3 (1) | 三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ | 乗法や除法の式の意味を解釈することができる | 2A (3)ア | 3A (4)ア | 4A (5)ウ | | | | | | | | | | 58.9 | 62.6 | 1.0 | 1.0 |
| 3 (2) | 縦3 cm、横5 cmの長方形の厚紙から、1辺9 cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く | 縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述できる | 2A (3)ア | 3A (4)ア | | | | | | | | | | | 34.1 | 38.4 | 20.2 | 17.4 |
| 3 (3) | 1辺が9 cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ | 正方形に内接する円の半径について理解している | | | 3C (1)ウ | 5C (1)ア | | | | | | | | | 74.5 | 76.5 | 2.2 | 1.9 |
| 4 (1) | 学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ | 単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる | | 5B (4)ア | | 3D (3) | | | | | | | | | 47.0 | 48.3 | 2.3 | 1.9 |
| 4 (2) | 示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ | 示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる | | | | 3D (3) | | | | | | | | | 67.6 | 70.7 | 3.0 | 2.5 |
| 4 (3) | A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く | グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる | | | | 4D (4)イ | | | | | | | | | 22.7 | 24.9 | 16.0 | 13.2 |
| 5 (1) | 示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や算算の表す内容に着目して書く | 示された除法の式を並べてきた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる | 3A (4)ア | 4B (2)アイ | 3C (1)ア | 5C (1)ア | 3D (1) | | | | | | | | 5.4 | 6.9 | 22.3 | 18.7 |
| 5 (2) | 示された四角形を並べてできる図形を選ぶ | 図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる | | 4B (2)アイ | 3C (1)イ | 5C (1)ア | アウ | | | | | | | | 25.6 | 25.4 | 10.1 | 8.9 |

※塗りつぶしは、全国以上の平均正答率及び全国以下の無解答率。太枠は5%以上の無解答率。

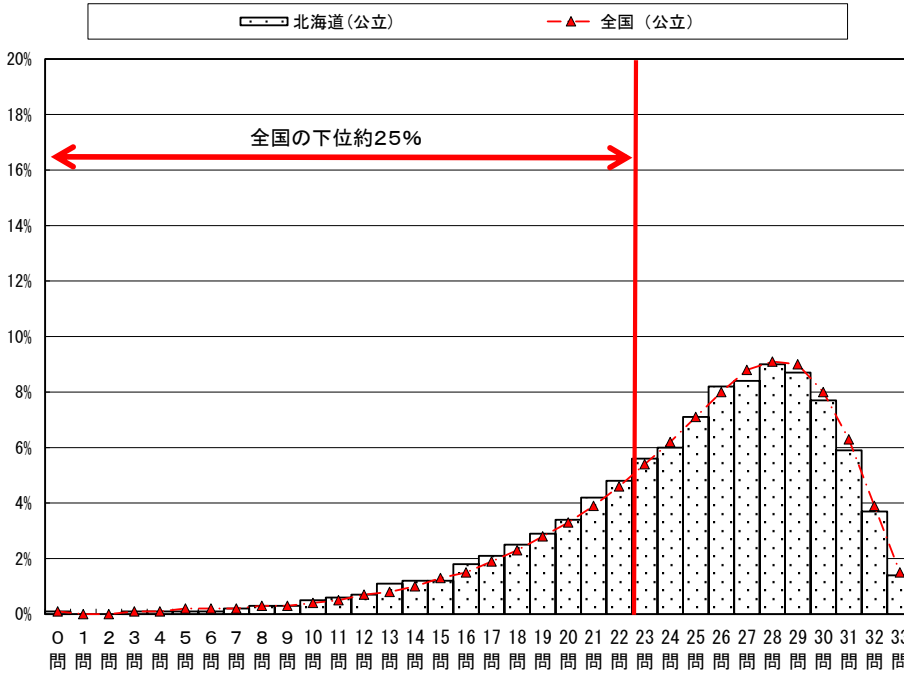
| | H26 | H27 | H28 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 平均正答率が全国以上の設問数 | 1 / 13問 | 2 / 13問 | 1 / 13問 |
| 無解答率が全国以下の設問数 | 1 / 13問 | 1 / 13問 | 2 / 13問 |
| 無解答率が5%以上の設問数 | 4 / 13問 | 8 / 13問 | 5 / 13問 |

■ 中学校国語A

【概要】

- 平均正答率は、75.1%
- 全国の平均正答率との差は、0.0ポイント（平成27年度）から-0.5ポイントに広がった
〔参考〕平成25年度小学校国語Aの全国平均正答率との差は、-2.3ポイント

| | 生徒数（人） | 平均正答数（問） | 平均正答率（%） | 中央値 | 標準偏差 |
|---------|---------|-----------|----------|------|------|
| 北海道（公立） | 41,221 | 24.8 / 33 | 75.1 | 26.0 | 5.4 |
| 全国（公立） | 996,188 | 25.0 / 33 | 75.6 | 26.0 | 5.4 |

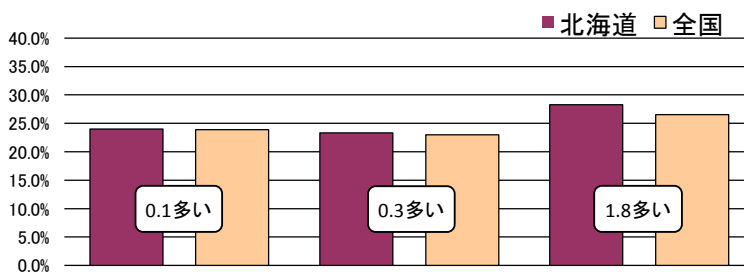


● 全国の下位約25%は、22問以下の正答数（正答率は66.7%以下）。

| 正答数（生徒の割合（%）） | | |
|---------------|-----|-----|
| 正答数（正答率） | 北海道 | 全国 |
| 0問（0.0%） | 0.1 | 0.1 |
| 1問（3.0%） | 0.0 | 0.0 |
| 2問（6.1%） | 0.0 | 0.0 |
| 3問（9.1%） | 0.1 | 0.1 |
| 4問（12.1%） | 0.1 | 0.1 |
| 5問（15.2%） | 0.1 | 0.2 |
| 6問（18.2%） | 0.1 | 0.2 |
| 7問（21.2%） | 0.2 | 0.2 |
| 8問（24.2%） | 0.3 | 0.3 |
| 9問（27.3%） | 0.3 | 0.3 |
| 10問（30.3%） | 0.5 | 0.4 |
| 11問（33.3%） | 0.6 | 0.5 |
| 12問（36.4%） | 0.7 | 0.7 |
| 13問（39.4%） | 1.1 | 0.8 |
| 14問（42.4%） | 1.2 | 1.0 |
| 15問（45.5%） | 1.2 | 1.3 |
| 16問（48.5%） | 1.8 | 1.5 |
| 17問（51.5%） | 2.1 | 1.9 |
| 18問（54.5%） | 2.5 | 2.3 |
| 19問（57.6%） | 2.9 | 2.8 |
| 20問（60.6%） | 3.4 | 3.3 |
| 21問（63.6%） | 4.2 | 3.9 |
| 22問（66.7%） | 4.8 | 4.6 |
| 23問（69.7%） | 5.6 | 5.4 |
| 24問（72.7%） | 6.0 | 6.2 |
| 25問（75.8%） | 7.1 | 7.1 |
| 26問（78.8%） | 8.2 | 8.0 |
| 27問（81.8%） | 8.4 | 8.8 |
| 28問（84.8%） | 9.0 | 9.1 |
| 29問（87.9%） | 8.7 | 9.0 |
| 30問（90.9%） | 7.7 | 8.0 |
| 31問（93.9%） | 5.9 | 6.3 |
| 32問（97.0%） | 3.7 | 3.9 |
| 33問（100.0%） | 1.4 | 1.5 |

| | | |
|----------|------|------|
| 22問以下の割合 | 28.3 | 26.5 |
|----------|------|------|

全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



※全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる全道の児童生徒の割合を比較した。

※児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

| | H26 | | H27 | | H28 | |
|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|
| | 全道 | 全国 | 全道 | 全国 | 全道 | 全国 |
| 割合 | 24.0% | 23.9% | 23.3% | 23.0% | 28.3% | 26.5% |
| 正答数 | 32問中 22問以下 | | 33問中 21問以下 | | 33問中 22問以下 | |
| 全国との差 | 0.1 多い | | 0.3 多い | | 1.8 多い | |

+0.2

+1.5

〔参考〕

平成25年度小学校国語A

全道 全国

26.4% 23.1%

全国との差 3.3多い